

(様式1)

授業科目 言語発達障害演習Ⅰ

科目コード番号

【担当教員名】 市島民子	対 象 学 年	2	対 象 学 科	言語
	開 講 時 期	後期	必修・選択	必修
	単 位 数	1	時 間 数	15

【概要及び学習目標】

<概要>

言語発達遅滞の評価と指導（記録の取り方、指導方針のたて方）を学習する。
評価にあたり、聴取事項、行動観察、検査の使用と解釈を実習にて体験し、ビデオ症例の評価を作成する。

<学習目標>

- ・ インテーク、初回評価
- ・ 指導プログラムのたて方
- ・ 発達検査、知能検査等各種検査の実施、解釈、活用

回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容	学習方法
1	言語発達障害のインテーク	インテーク、初回評価項目	講義
2	検査法(1)	質問紙法 (PVT, DAM, KIDS, 津守等)	講義・演習
3	検査法(2-1)	発達検査 (新版K式発達検査)	講義
4	検査法(2-2)	実技演習	演習
5	検査法(3)	言語発達検査 (S-S法)	講義・演習
6	検査法(4)	言語発達検査 (ITPA), 知能検査 (WISC-III)	講義
7	評価のまとめと報告書	ビデオ症例の評価と報告書作成	演習

【評価方法】

出席
演習レポート提出

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書				
参考書	入門コース・ことばの発達と障害3：ことばの障害の評価と指導	大石敬子編	大修館書店	2001年、2400円 ISBN : 4-469-11064-7
その他 (プリント等)	プリント使用			